

(10)

令和5年度 事業報告

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

社会福祉法人明和町社会福祉協議会

目 次

I. 令和5年度社会福祉事業報告

1. 法人運営事業

- 1-①. 理事会
- 1-②. 評議員会
- 1-③. 評議員選任・解任委員会
- 1-④. 主な社協事業の状況
- 1-⑤. 職場内会議・研修

2. 社会福祉事業の普及啓発

- 2-①. 地域福祉（活動）計画の推進
- 2-②. 地区福祉委員会の活動助成（自治会長・民生児童委員）
- 2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）
- 2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い
- 2-⑤. 広報誌の発行
- 2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施
- 2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰

3. 各種運動の推進・寄附金

- 3-①. 日本赤十字社募金運動
- 3-②. 社協会員増強月間
- 3-③. 赤い羽根共同募金運動
- 3-④. 歳末たすけあい運動
- 3-⑤. 寄附金

4. 福祉用具等の貸出に関する事業

- 4-①. 福祉機器等の貸出（ベッド・車いす）
- 4-②. バザー用品等の貸出
- 4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）
- 4-④. 地域コミュニティー備品貸出事業

5. 地域支え合い体制づくり事業

- 5-①. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）
- 5-②. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業
- 5-③. 生活支援体制整備事業
- 5-④. 介護支援ボランティア活動推進事業（高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業）
- 5-⑤. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業

- 5-⑥. 配食サービス事業
- 5-⑦. 明和学びの里運営事業
- 5-⑧. 支援対象児童等見守り強化事業
- 5-⑨. OBENTO PROJECT 事業
- 5-⑩. ひきこもり支援推進事業

6. 介護者支援に関する事業

- 6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）
- 6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付
- 6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付
- 6-④. 家族介護教室

7. 福祉教育に関する事業

- 7-①. UMOUプロジェクト
- 7-②. 福祉協力校
- 7-③. 福祉体験教室
- 7-④. ボランティア・サマースクール

8. ボランティアセンター運営事業

9. 暮らしの相談・支援事業

- 9-①. 成年後見制度に関する事業
- 9-②. 日常生活自立支援事業（権利擁護）
- 9-③. 生活困窮者自立支援事業
- 9-④. みえ福祉の「わ」創造事業
- 9-⑤. 生活福祉資金の貸付
- 9-⑥. 地域福祉金庫の貸付

10. 一般介護予防事業

- 10-①. えんがわ教室
- 10-②. 筋力脳力あつぷ教室

II. 令和5年度各事業利用実績

- 1. 居宅介護支援事業プラン作成実績
- 2. 高齢者通所介護事業利用実績
- 3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績
- 4. 地域活動支援センター事業利用実績
- 5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績
- 6. 共同生活援助事業（やわらぎ）利用実績

令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会

事業報告

I. 令和5年度社会福祉事業報告

1. 法人運営事業

1-①. 理事会

開催日	議案・承認
令和5年 5月30日	<p>第1回</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4号収支補正予算</p> <p>② 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について</p> <p>③ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について</p> <p>④ 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1回評議員会の開催について</p> <p>⑤ 専決処分した事項の承認について 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算</p>
令和5年 6月16日	<p>第2回</p> <p>① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会 会長、副会長の選任について</p> <p>② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について</p>
令和5年 11月16日	<p>第3回</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算</p> <p>② 会長（理事長）の退任について</p> <p>③ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会定款の一部改正について</p> <p>④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について</p> <p>⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>⑥ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>⑦ 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2回評議員会の開催について</p>
令和6年 12月14日	<p>第4回</p> <p>① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会会長、副会長の選任について</p>
令和6年 3月15日	<p>第5回</p> <p>① 専決処分した事項の承認について 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算</p> <p>② 令和6年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について</p> <p>③ 令和6年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について</p> <p>④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について</p>

	⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について ⑥ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部改正について ⑦ 令和6年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3回評議員会の開催について
--	---

1-②. 評議員会

開催日	議案・承認
令和5年 5月30日	第1回（書面による決議） ① 専決処分した事項の承認について 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4号収支補正予算 ② 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について ③ 令和4年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事及び監事の選任について ⑤ 専決処分した事項の承認について 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算 決議があったとみなされた日 令和5年6月16日
令和5年 12月14日	第2回 ① 専決処分した事項の承認について 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算 ② 会長（理事長）の退任について ③ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会定款の一部改正について ⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について
令和6年 3月29日	第3回 ① 専決処分した事項の承認について 令和5年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算 ② 令和6年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について ③ 令和6年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について ⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について ⑥ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部改正について

1-③. 評議員選任・解任委員会

開催日	議案・承認
令和5年 6月16日	第1回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員の選任について
令和5年 11月17日	第2回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員の選任について

1-④. 主な社協事業の状況

開催日	事 項	開催場所
令和5年		
5月1日～	日本赤十字社社資募集期間	明和町内
5月31日		
5月19日	監事監査	明和の里
6月5日	学びの里開校式	明和の里
7月1日～	福祉のまちづくり資金（社協会費）募集期間	明和町内
7月31日		
8月1日	サマースクール	
19日	ふれあい夏祭り2024・功労者表彰式	明和の里・ありんこ周辺
9月16～24日	パートナーシップSDGsイベント	イオンモール明和店
10月1日～	赤い羽根共同募金運動実施期間	明和町内
12月31日		
10月21日	あかなご野球フェスタ	明和中学校第二グラウンド
22日	赤い羽根共同募金街頭募金	イオンモール明和店
25日	三重県社会福祉大会	県総合文化センター
11月4日	赤い羽根共同募金街頭募金	ぎゅーとら明和店
11日	赤い羽根共同募金街頭募金	スーパーサンシ明和店
22日	第1回地域福祉活動計画策定・推進委員会	明和町役場
11月25日～	歳末たすけあい募金募集期間	明和町内
12月10日		
令和6年		
1月11日	第2回地域福祉活動計画策定・推進委員会	明和町役場
20日	成年後見制度講演会	いつきのみや地域交流センター
21日	子ども食堂講演会・見学会	中央公民館
2月10日	ひきこもり学習会・意見交換会	明和の里
3月26日	第3回地域福祉活動計画策定・推進委員会	明和町役場

1-⑤. 職場内会議・研修

会議・研修名・講師	参加職員
<p>●職場内会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会（定例：12回） ・感染症対策BCP策定委員会（全8回） ・災害対策BCP策定委員会（全8回） ・虐待防止委員会（全7回） ・資質向上委員会（全12回） 	<p>会長・局長・次長・総務係長・衛生管理者・従業員代表</p> <p>担当職員</p> <p>担当職員</p> <p>担当職員</p> <p>担当職員</p>
<p>●職場内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策研修 各部署ごとに実施 ・虐待防止研修 令和5年10月19日 ・災害時対応図上訓練 令和6年1月18日 ・法令順守・職員倫理 令和6年2月29日 	<p>全職員</p> <p>全職員</p> <p>全職員</p> <p>全職員</p>

2. 社会福祉事業の普及啓発

2-①. 地域福祉（活動）計画の推進

事業目的	<p>本計画を推進するため「明和町地域福祉（活動）計画推進委員会」を開催し、計画の進捗状況の把握・検証、取り組みの評価を実施します。</p> <p>町の福祉、保健、教育、人権問題、まちづくり、防災、生活環境など様々な分野の担当課と本会による連携の場をもち、情報共有、共同での課題解決、新たな取り組みへの研究・検討など連携につとめます。</p>
事業実績	<p>●地域福祉計画策定・推進委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会</p> <p>第1回 令和5年11月22日（水）</p> <p>① 地域福祉計画・地域福祉活動計画について</p> <p>② 今後のスケジュールについて</p> <p>第2回 令和6年1月11日（木）</p> <p>① 地域福祉計画・地域福祉活動計画について</p> <p>② 今後のスケジュールについて</p> <p>③ その他</p> <p>第3回 令和6年3月26日（火）</p> <p>① 地域福祉計画・地域福祉活動計画について</p> <p>② その他</p> <p>●連絡会議</p> <p>第1回 令和5年11月17日（金）</p> <p>第2回 令和5年12月20日（水）</p> <p>第3回 令和6年 1月15日（月）</p> <p>第4回 令和6年 2月19日（月）</p> <p>第5回 令和6年 3月18日（月）</p>
事業評価	<p>●新型コロナウイルス感染症の影響により、3年間地域福祉（活動）計画推進委員会を開催することが出来ませんでした。今年度より対面にて開催する事が出来ました。開催回数は3回と少ない回数ではありましたが、委員の皆さんから活発な意見もいただき、地域の皆さんの地域福祉に対する前向きな姿勢を感じる事が出来ました。</p> <p>●委員長や行政担当課との連絡会議を重ねることで、委員会への提案や今後の地域福祉活動への展開を短期間ながらスムーズに示す事が出来ました。</p>
今後の課題	<p>●第二期計画の推進はもちろんのこと、付帯事項についても、行政や関係機関、地域住民との協議会、地域福祉活動計画推進委員会を定期的を開催していく必要があります。</p>

2-②. 地区福祉委員会への活動助成（自治会長・民生児童委員）

事業目的	地域の生活環境のなかで、個人の力ではどうしても解決できない問題を、住民一人一人が地域ぐるみで実践するための組織づくりを行います。						
事業実績	配分金（円）						
		大 淀	上御糸	下御糸	斎 宮	明 星	合 計
	令和5年度	37,080	72,520	57,680	143,440	89,280	400,000
	令和4年度	62,930	79,535	70,850	101,480	85,205	400,000

2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）

事業目的	明和町在住のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に日帰り旅行を行うことにより、日々の暮らしの様子や生活課題はないかなどの確認や、旅行を楽しみに生きがいを持って生活していただくことを目的としています。	
事業実績	令和5年度	開催中止
	令和4年度	開催中止
事業評価	●例年鳥羽方面への日帰り旅行を実施しており、日頃遠出や買物の機会が少ない参加者に喜ばれ、地域の方との交流も楽しんでいただいていたのですが、令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止が継続されています。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスは5類感染症に位置付けられましたが、参加対象者が70歳以上ということもあり、実施するにあたっては感染予防の対策が充分に行える環境を整える必要があります。 ●70歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯を対象としていますが、その中でも自力でバスの乗降ができる等、参加条件が一部限定されるところがあります。 ●年々、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯が増加しており、参加対象者が増加する中で、財源となる募金額も減少しており、財源確保が難しくなっています。 	

2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い

事業目的	歳末の時期にあたり、多くのひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などの方々に個別訪問を行うことにより、安否確認・不安なく健康で新しい年を迎えられることを目的としています。				
事業実績	配布数（個）				
	対象者	要援助世帯	ひとり暮らし 高齢者	高齢者世帯	合計
	令和5年度	47	619	532	1,198
	令和4年度	50	608	536	1,194
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●年々、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯は増加傾向です。 ●見舞品の配布をきっかけとした訪問活動を通じ、対象高齢者の安否確認、現況把握ができ、地域の方々と民生委員の方との信頼関係構築につながっています。 ●訪問、声かけ活動をする中で福祉に関する悩み・相談事を受け、助言や必要に応じて関係機関に繋ぐことで対象者の安全、安心な暮らしの実現を援助する活動となっています。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も対象となる世帯が増加傾向をたどると予想され、募金額の減少に伴い、他の財源確保も検討する必要があります。 ●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られないケースがあり、把握できていない対象者もあります。 ●要援助者世帯について、個人情報の問題が生じ、把握が難しいケースがあります。 				

2-⑤. 広報誌の発行

事業目的	住民の皆さんに、社協の様々な活動内容をご理解いただくとともに、地域福祉活動に積極的に参加するための情報を提供することを目的としています。
------	--

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 「社協だより」 年4回発行・社協の活動紹介 基本理念、事業実施計画（新規事業）、収支予算、収支決算、ふれあい夏祭り2023（功労者表彰）、子ども食堂講演会&見学会開催、OBENTO PROJECT 支援お願い、下御糸小学校福祉体験教室、生活困窮者支援案内、成年後見サポートセンター事業紹介・講演会案内、ひきこもり講演会案内、第3回家族介護教室案内、献血ルームハートワン紹介、福祉のおしごと相談窓口案内、寄附金・寄附物品報告、募金活動実績報告・御礼（日本赤十字社社資、福祉の町づくり資金、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金） ● 「広報めいわ」に「社協だより」コーナーを掲載 「地域の輝く人」紹介（業平夢太鼓・三世古老人クラブイベント、上野おしゃべり女子会）、厚生労働大臣表彰（明和鈴の音会）、ひきこもり支援事業・ひきこもりサポート相談窓口紹介、ひきこもり講演会案内、ふれあい夏祭り開催案内・報告、成年後見制度講演会案内、ひなまつりイベント報告、家族介護教室案内（看取り、介護技術と介護者のリラクゼーション）、えんがわ教室参加者募集、明和健康阿波おどりクラブ会員募集、
------	---

2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施

事業目的	<p>日頃、ボランティアなどに従事している各福祉団体や、ボランティア団体、社会福祉施設に参画いただき協同の輪をひろげるとともに、福祉に関わる機会の少ない地域の皆さんに、楽しみながら福祉を身近に感じていただける機会をつくります。地域の皆さんと交流し、社協が実施している事業や、ボランティア活動、募金運動など、地域の皆さんにひろく福祉について関心を持っていただく事を目的としています。</p>
事業実績	<p>○令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長表彰並びに感謝状授与式 ・ステージ発表【Cherry BonBon、明和ゆたか園踊り、第2 明和ゆたか園踊り、業平夢太鼓、明和町老人クラブ連合会踊り、Cherry&grape、FreeZ、ぱる♪、魂舞団（よさこい）フィナーレ ・パラスポーツ体験【卓球バレー、ボッチャ】（明和町パラスポーツクラブ） ・マジック体験（明和マジッククラブ） ・e-スポーツ体験（修正集学校） ・助け合いアプリ「mayii」お手伝いミッション体験（㈱DNP、㈱AVITA）【アバターによる受付体験、高齢者疑似体験、水風船づくり、段ボール猫バス撮影】 ・高齢者スポーツ【クロリティ】体験、お菓子釣り（明和町老人クラブ連合会） ・UMOOUプロジェクト啓発 ・ボランティア基金募金活動（ガチャガチャ設置、風船渡し） ・ふるまい【ポップコーン、水風船ヨーヨー、観葉植物（地域住民の方からのご寄付） ・縁日コーナー（NPO 法人みんなの食堂こむすび舎めいわ町【スーパーボールすくい、射的、ゲーゴル、やかんカーリング、たこ焼きビンゴ、ストラックアウト】 ・夜店【焼きそば、かき氷、フランクフルト、冷やしパイン、綿菓子】 ・お楽しみ抽選会 ・キッチンカー販売【café 楽（ドリンク、スイーツ）、JAM（スイーツ）、café 茶々（ドライカレー、唐揚げ、サーターアンダギー）】 ・販売【さにいさいど（四季の里）、お菓子工房 M（まつさか福祉会）、第二南勢就労支援センター、あざふるさと、コープみえ】 <p>○令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

(様式3)

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●令和元年以来の開催となり、約 2300 人のご来場をいただき、過去最高の賑わいとなりました。 ●福祉団体である明和町老人クラブ連合会、登録ボランティア団体である明和町パラスポーツクラブ、明和マジッククラブ、業平夢太鼓、N&Z、Cherry&grape 総勢約 100 名がご参画いただき、一緒に祭りを盛り上げていただき活躍の場を提供する事につながりました。 ●NPO 法人みんなの食堂こむすび舎めいわ町の他、日ごろの福祉活動を通じて関係構築された町内外の社会福祉法人、NPO 法人、企業等にも多数ご参画いただきました。 ●上記団体のご参画の他に、明和中学校ボランティア部の皆さん、明野高等学校福祉部の皆さん、皇学館大学の有志の皆さん、地域住民の皆さん総勢 50 名がボランティアとしてご協力いただきました。 ●ボラスポーツイベントと助け合いイベントを盛り込んだことで、日ごろ、福祉に触れる機会の少ない地域住民の皆さんにも楽しみながら福祉に触れていただく機会となりました。 ●多くのご来場者の中で会長表彰並びに感謝状授与式が執り行うことができました。
今後の課題	<p>【内容】想定を超えるご来場をいただき、駐車場対応の他、各イベントブースも混雑し、せっかくご来場いただいた皆様をお待たせする事が多々あり、イベント規模や人員体制等の再検討が必要であり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当日、職員が熱中症で救急搬送される事態が起こり、安全に開催するにあたり、実施時期や休憩体制等を再検討する必要があると考えられます。 ●夕方からの開催という形を取り、また、大変混雑するため、高齢者の方にとってはご来場しにくい状況が生じていますので、高齢者の方もご来場しやすい工夫が必要と考えられます。

2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰

事業目的	地域福祉の推進に多年活動を続け、その功績があった方、その他広く福祉の増進に功労のあった方に対し、会長がこれを表彰し、また感謝の意を表し、その功績を讃えるとともにあわせて地域福祉活動の発展に寄与することを目的としています。		
事業実績	令和5年度	会長表彰・感謝 ボランティア活動功労者 2団体・1名	
	令和4年度	会長表彰・感謝 ボランティア活動功労者 1団体	

但 当法人が行う社会福祉事業のための寄附物品

受領日 令和 7 年 2 月 10 日 上記正に受領いたしました。

3. 各種運動の推進・寄附金

明和町 自治会数	令和5年度	96
	令和4年度	96

社会福祉法人

3-①. 日本赤十字社募金運動 (1世帯 500円程度)

明和町社会福祉協議会

会長 西山 隆

区分		一般社資 (自治会数)	合 計
募金額 (円)	令和5年度	1,150,208 (67)	1,150,208
	令和4年度	1,178,481 (70)	1,178,481

3-②. 社協会員増強月間 (一般 300円 特別 1,000円程度)

区 分		一般賛助会員(自治会数)	特別賛助会員 (件数)	合 計
募金額 (円)	令和5年度	893,352 (66)	0 (0)	893,352
	令和4年度	790,902 (72)	0 (0)	790,902

3-③. 赤い羽根共同募金運動 (1世帯 500円 法人 3,000円程度)

区 分		一般募金 (自治会数)	法人募金 (法人数)	職域募金	イベント募 金・街頭募 金・募金付 自販機 他	羽毛 回収	合 計
募金額 (円)	令和5年度	1,014,730 (65)	285,680 (98)	38,509	228,179	38,120	1,605,218
	令和4年度	1,076,050 (67)	313,020 (113)	36,573	135,574	45,960	1,607,177

- ・職域募金 (明和町役場・明和消防署・明和町社会福祉協議会・斎宮歴史博物館・埋蔵文化センター)
- ・イベント募金・募金付自販機・街頭募金 (スーパーサンシ明和店・ぎゅーとら明和店・イオンモール (株)イオンモール明和店)

3-④. 歳末たすけあい運動 (1世帯 200円 法人 1,000円程度)

区 分		一般募金(自治会数)	法人募金 (法人数)	その他 (個人・職 域)	合 計
募金額 (円)	令和5年度	641,290 (68)	125,000 (104)	4,201	770,491
	令和4年度	683,060 (70)	117,000 (112)	3,200	803,260

3-⑤. 寄附金

区 分		件数 (件)	金額 (円)・物品名
寄附金	令和5年度	42	539,486
	令和4年度	37	450,849
寄附物品	令和5年度	118	新米 750 kg、玄米 1,120 kg、老人車 1 台、大根 278 本、じゃが芋 10 袋、南瓜 38 個、さつま芋 152.6 kg、人参、玉ねぎ、ピーマン、キャベツ、白菜、大根葉、茄子、冬瓜、甘夏 3 箱、みかん 1 箱、焼き菓子 168 個、袋菓子 100 袋、お茶 1 kg、車模型 30 個、老人車 1 台、衣類、尿取りパッド 11 袋 他

	令和4年度	111	新米 60 kg、60 kg、白米 194 kg、玄米 1,650 kg、もち米 10 kg、ポータブルトイレ 2 台(新品)、ガス炊飯器 1 台、コーヒーメーカー 1 台、大根 241 本、じゃが芋 7 ケース、南瓜 32 個、さつま芋 5 ケース、ほうれん草 7 ケース、人参、玉ねぎ、ピーマン、キャベツ、レタス、白菜、甘夏 40 個、みかん 10 kg、メロン 30 個、菓子パン 60 個、クリスマス用菓子 28 個 他
--	-------	-----	--

4. 福祉用具等の貸出に関する事業

4-①. 福祉機器等の貸出 (ベッド・車いす)

事業目的	日常生活に支障をきたしている方に対して、福祉用具を貸出することにより、在宅介護の支援を行います。			
事業実績	種 別	保有数 (台) (貸付数：3月末)	延べ申請数 (台)	
	車 椅 子	13 (5)	令和5年度	33
			令和4年度	23
	ベ ッ ド	3 (0)	令和5年度	0
令和4年度			3	

4-②. バザー用品等の貸出

事業目的	野外活動や町内各種イベント及び祭りを開催する団体・グループ・自治会などに貸出をし、その収益を福祉のまちづくり資金や各種募金活動の資金にすることを目的としています。			
事業実績		貸出件数 (件)		
	令和5年度	焼き鳥器・・・0	テント・・・0	わたがし機・・・4
		焼きそば機・・・0	かき氷機・・・10	たこ焼き機・・・0
	令和4年度	焼き鳥器・・・0	テント・・・0	わたがし機・・・1
焼きそば機・・・0		かき氷機・・・4	たこ焼き機・・・0	
		ポップコーン機・・・4		ポップコーン機・・・2

※ 令和5年7月 経年劣化により、かき氷機を1台購入

4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）

事業目的	町民の便宜を図り、併せて生活改善の啓発に役立てることを目的としています。		
事業実績	保有数（台） （貸付数：3月末）	延べ申請数（台）	
	2 （なし）	令和5年度	0
		令和4年度	0

4-④. 地域コミュニティー備品貸出事業

事業目的	住民で組織する団体等が行う地域社会活動を支援し、地域コミュニティーの活性化と自主的な社会貢献活動を促進するため、地域コミュニティー備品を貸出します。		
事業実績		貸出件数（件）	
	令和5年度	公式わなげセット・・・4 ケンコーボッチャセット・・・0	射的銃コルク弾付・・・6 安全ソフトダーツ・・・0
	令和4年度	公式わなげセット・・・2 ケンコーボッチャセット・・・0	ディスクッター9・・・0 安全ソフトダーツ・・・0
事業評価	今年度は地域団体のイベントの開催が幅広く見られ、主に夏祭りやクリスマス会等で活用されました		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●サロンへの訪問時に障がい者も共に楽しめる「ボッチャ」などの競技を実際に紹介・体験してもらい、競技への興味を持ってもらう働きかけが必要です。 ●サロン支援や自治会のイベントでのニーズを反映して、貸出物品メニューの再検討をする必要があります。 		

5. 地域支え合い体制づくり事業

5-①. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）

事業目的	地域住民が、社会とのつながりを持ちながら、「住みなれた地域で楽しくおだやかに暮らしたい」という気持ちを大切に地域での自立した生活を支援します。					
事業実績	○令和5年度					
	相談方法	電話	来所	訪問	その他	合計（件）
		6	12	3	1	22
	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティア 関係	行政	合計（件） 22
		9	11	0	0	
福祉施設職員		団体関係	その他	教室利用者		
	1	0	0	1		

事業実績	相談内容 (重複あり)	地域生活	生活に関する不安ごと相談 (3) 家族・親族に関する相談 (2) 空き家 (空き地) 管理に関する相談 (4) 障がい者の活躍の場に関する相談 (1)			
		団体活動	老人会について (1) 民生児童委員の証明事務について (1)			
		福祉サービス利用	福祉用具貸出についての相談 (1)			
		社協事業利用	貸付事業について (1) 募金について (3) ボランティアについて (3)			
		自治会	福祉を必要とする方について (2)			
○令和4年度						
相談方法	電話	来所	訪問	その他	合計 (件)	
	9	7	0	0	16	
相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティ ア関係	行政	合計 (件)	
	8	4	3	1	16	
	福祉施設	団体関係	その他	教室利用者		
	0	0	0	0		
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民からの相談ごとを、社協職員として一人ひとりが窓口となり、福祉なんでも相談として対応したことで、さまざまな疑問や相談内容があることが改めて視覚化できました。 ●関係機関を紹介するだけでなく、関係機関に直接連絡をとり同行訪問を行ったり、電話を受けてこちらから出向いてお話を聴くなど、ご相談者様との信頼関係構築に努めることができました。 ●「どこに相談したら良いかわからない」という事でご相談いただいた件数は昨年度と比較して増加となり、各事業において類似の相談は数多く寄せられています。 ●いただいたご相談やお問合せ内容に応じて、継続的に相談支援を実施する事で、1回の相談では解決しない問題に対して、複合的にアプローチする事ができました。 					
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な相談内容に適切に対応できるようスキルアップを行い、相談支援事業の資質向上に努めていきます。 ●相談者は社協に何らかのかかわりのある方からの相談が多かったため、今後も積極的に地域へ出向く機会を作り、地域住民からの困りごとを直接キャッチできる仕組みづくりをしていく必要があります。 ●今後も社協職員一人ひとりが担当の枠を超えて、地域住民のあらゆる疑問や不安に対する相談窓口であるという意識をもつ必要があります。 					

5-②. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業

事業目的	民生委員・児童委員と協働し、訪問、声かけ、安否確認などの活動を通じて、担当区域内の住民の実態やあらゆる福祉ニーズを日常的に把握します。また地域の行事や会合などにも参加し、情報収集に努めます。
------	---

事業実績		要援助世帯 (世帯)	ひとり暮らし 高齢者 (名)	高齢者世帯 (世帯)	合計
	令和5年度		54	622	538
令和4年度		51	608	543	1,202
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●配偶者の施設入所や死亡により、ひとり暮らし高齢者が増加しており、今後も増加すると予想されます。 ●要援助世帯（寝たきり高齢者・認知症高齢者・ひきこもりその他援助が必要と思われる世帯）においても昨年度より世帯数の増加がみられ、今後も増加傾向をたどると予想されます。 ●訪問の際、福祉に関する悩み事、生活上の困りごと等の相談役となり、対象者の安全、安心な暮らしの実現に向けた援助活動を行っています。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる世帯は全体的に増加傾向をたどると予想されます。 ●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られない方があり、状況を把握出来ていない対象者もあります。 ●要援助者世帯についても個人情報保護の問題以外にも、プライバシーに配慮した調査を実施する必要があるとあり、把握が難しいケースが出てくると予想されます。 				

5-③. 生活支援体制整備事業

事業目的	<p>市町村の日常生活圏域ごとに「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」と「協議体」を配置して、地域住民の「互助」による助け合い活動を推進することで、地域全体で生活を支える体制づくりを進める取り組みです。</p> <p>生活支援コーディネーターの配置</p> <p>◎あらゆる生活課題への対応 地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組み・連携の場づくりを行い、その解決や予防に向けて取り組みます。</p> <p>◎地域のつながりの再構築 民生委員や自治会と協働し、小学校区や自治会などを単位とする小地域における住民主体の福祉活動を一層強化し、地域のつながりの再構築を図り、だれも排除しない地域社会づくりをすすめます。</p> <p>協議体 市町村が主体となり、各地域におけるコーディネーターと生活支援・介護予防サービスの提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携強化の場として、中核となるネットワークです。</p>					
	事業実績	令和5年度	コミュニティソーシャルワーカーとしての相談実績			
			来所	電話	訪問	合計 (回)
地域住民			7	86	602	695
関係機関			98	361	78	537
生活支援コーディネーターとしての相談実績						
			来所	電話	訪問	合計 (回)
地域住民			19	55	55	129
関係機関	29	139	27	195		

		地域サロン等訪問支援						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
		4回	9回	15回	9回	3回	5回	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	77回
		6回	6回	8回	4回	4回	4回	
	令和4年度	コミュニティソーシャルワーカーとしての相談実績						
			来所	電話	訪問	合計(回)		
		地域住民	28	84	537	649		
		関係機関	92	337	135	564		
		生活支援コーディネーターとしての相談実績						
		来所	電話	訪問	合計(回)			
地域住民		19	29	48	96			
関係機関	10	35	14	59				
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域支援担当者3名により、サロン支援の他、きめ細やかな情報収集を行う事でコロナ禍以降の地域福祉活動の促進に努めました。 ●新たな高齢者サロンが1つ結成され、開催時は毎月訪問する中でe-スポーツ活動や高齢者スポーツ活動の支援等を実施しました。 ●各サロンで町内を運行している乗り合いタクシーの使用法の説明会をコーディネートしたり、介護予防の一環としてe-スポーツ活動実施支援を展開し、高齢者のデジタル技術活用支援を行いました。 ●高齢者サロン団体(単位老人クラブ)と子ども支援団体との多世代交流促進を図りながら、支援を実施しました。 ●ひきこもりサポート相談事業、めいわサポーター活動推進事業と連動し、高齢者の生活支援の一環としてひきこもり当事者による有償ボランティア活動の推進を図り、支え合いのまちづくりに寄与する事ができました。 ●所謂「買い物難民」問題に関して、民間企業・民生委員と連携し、よりニーズに即した移動スーパーの展開に向けた土台作りを行いました。 ●地域資源の見える化を進める上で、デジタル技術を活用した地域資源マップを作成し、運用に向けた土台作りを行いました。 ●近隣の町の生活支援コーディネーター同士が意見交換を行う場を定期的に持つことで、効果的な事例を共有し、業務の効率化を図りました。 							
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者のデジタル技術活用支援において、特に高年齢層の方においては抵抗感が感じられる為、気軽なスマホ教室等の開催も継続的に実施する事で、活用促進を図る必要があります。 ●コロナをきっかけに、サロン活動を休止し、再開の機運が高まらないサロン団体も少なからず見受けられます。そういった地域に対して具体的な働きかけが必要であると感じられます。 ●上記、移動スーパーの効果的な展開のために、令和6年度は自治会等と緊密な連携が必要であると考えられます。 ●引き続き、趣味や関心を持った方々が自治会等の枠を超えて集える「つどいの場」として開催されるサロンの訪問を継続し、情報提供やコーディネート等、必要に応じた支援に努める必要があります。 							

5-④. 介護支援ボランティア活動推進事業（高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業）

事業目的	<p>元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防につなげること、社会参加、地域貢献を通じた生きがいづくりを促進することを目的としています。</p> <p>受入施設にとっては、ボランティアが訪れることで地域とのつながりが深まるとともに、入所者を心豊かにするという目的があります。</p>			
事業実績		登録数	ポイント 転換交付数	活動事業数
	令和5年度	94名	880P	17事業
	令和4年度	93名	1,150P	17事業
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●登録事業所で、医療系の施設はなかなか、ボランティアの受け入れが再開されていませんが、それ以外の施設では、傾聴・将棋・麻雀等の新たなニーズがあり、新たなボランティアの参加に繋がりました。 ●コロナ禍でボランティア団体としての活動が休止している間に、会員が高齢になり体調不調等で12名の退会がありました。事業所から新たなボランティア活動依頼があり、めいわサポートセンターを通じて新たに3名の方と明和町ボランティアセンターに登録の団体から、個人として登録された為、合計13名の新規会員が入会し、全体の登録者数はあまり変化がありませんでした。 ●ポイントの還元期限があり、コロナ禍で活動が休止していたので、ポイントが貯まって還元しようとしても無効になってしまうポイントがありました。 			
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所から、新たなニーズが増えつつあるが、会員の高齢化から毎年一定数の退会者あり、新規会員の開拓にも努めていく必要性があります。 ●登録事業所が17事業所で止まっており、新たな事業所開拓を展開する事で、この制度をさらに周知し、ボランティアの活動の場が広がっていく必要があります。 			

5-⑤. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業

事業目的	<p>年齢などに関係なく、地域に住んでいるみなさんがお互いに支え合いながら自分らしく活躍できるように、地域の人々との交流・関係づくりをすすめ、福祉事業など公的サービスと助け合いながら暮らすことのできる仕組みをつくることを目的としています。</p>			
事業実績		活動者登録数	利用者登録数	ポイント転換交付数
		28名	39名	4,100P
	令和5年度	地域依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ処理 3件 ・荷物移動 3件 ・除草作業 10件 ・家庭ごみ処理（可燃ごみ1回/2W） ・その他買い物代行、精米代行、洗濯代行等 	<ul style="list-style-type: none"> ・庭木伐採 2件 ・庭木剪定 1件
		社協事業	OBENTO PROJECT 535件	配食サービス 1,054件
	令和4年度	活動者登録数	利用者登録数	ポイント転換交付数
	26名	25名	3,950P	

		地域依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ処理 1件 ・エアコン調整とフィルター掃除 1件 ・庭木伐採草刈り 1件・木の伐採 2件 ・庭木の剪定1件 ・草刈り 1件 ・草取り 9件 ・水道蛇口修繕 1件 ・センサー電灯取付 1件 ・家庭ごみ処理 2件(可燃ごみ1回/週) (可燃ごみ2回/週・金属缶、瓶2回/月) ・蜘蛛の巣取り 1件 ・窓掃除 1件
		社協事業	OBENTO PROJECT 749件 配食サービス 915件
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●草刈り、草取り、ゴミ出しは、定期的なニーズがあります。 ●ケアマネジャー、ありんこ利用者、法人内の他の事業からの紹介で、新規利用者が12名ありました。 ●ひきこもりサポート相談事業ご利用の当事者の方に、めいさが活動の活動者として登録してもらい、ご活躍いただいております、支え合い活動が更に促進されたものと考えられます。 ●特に粗大ごみの整理や、大型の荷物移動等のニーズが多く、高齢或いは障がいをお持ちの方の生活支援に貢献されたものと考えられます。 ●草取り等は、草の状態、天候等で作業が長時間になる事があります。 		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●作業によっては、長時間になるためボランティアの域を超える活動になってしまい、ボランティア活動としてある一定の線引き、例えば、活動時間を区切るなどの対応が必要となっています。 ●夏季の除草作業や選定作業等が増加傾向にありますが、サポーターの熱中症対策などをどのように行っていくか検討が必要です。 ●引き続き、利用者には気軽にちょっとしたことが依頼できる事を広報し、活動者はその利用者の近い方から探していく事も継続していきます。 		

5-⑥. 配食サービス事業

事業目的	高齢者の居宅に配食を行うことにより、食生活の改善、健康維持及び配達時の見守りにより孤独感の解消を図るとともに、自立した在宅生活を支援することを目的としています。	
事業実績		延べ利用人数(人)
	令和5年度	84
	令和4年度	83
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の身体機能低下や入院等の理由で本人との対面ができず、再訪したりケアマネジャーを通じての対応が増加しました。 ●配達是有償ボランティア、集金は職員が訪問しました。配達員と連携をとり、利用者様の様子を把握し、集金時には職員が会話の中で利用者様の在宅生活の様子をうかがいました。利用者様が不安な要素は、ご家族、ケアマネジャー、地域包括支援センター等と連携をとりながら問題解決に努めました。 ●食後の弁当箱の衛生面について、利用者様ご本人やご家族様に気を付けていただくよう注意喚起を行いました。 ●食事内容について大変美味しいと喜びの声をいただきました。 ●5月のゴールデンウィークは、利用者様のニーズにお答えし、配食サービスを実施しました。 	

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●お弁当箱が3kgと重いため、転倒リスクがある方の利用は注意が必要です。 ●認知機能や身体機能が著しく低下してきた場合は、随時ご家族やケアマネジャーに相談していく等、連携してサービスを提供します。
-------	---

5-⑦. 明和学びの里運営事業

事業目的	中学生に学習の場を提供するための夜間の自習塾として「明和学びの里」を開設し、地域の方々や大学生等の協力による自習補助を行うこと、生徒と地域の方々とのつながりの場を設けること、地域の方々に生徒及び中学校の応援団として関わっていただき、成長を見守っていただくことを目的としています。		
事業実績		開催日数 (日)	参加人数
			中学生 学生サポーター 地域サポーター
	令和5年度	36	1,813 373
	令和4年度	38	1,529 472
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことを受け、前期・後期ともに中学生の申し込みが増加し、大幅な増員となりました。 ●自主学習だけでなく、ALT参加によるハロウィン、クリスマスその他、英会話など生の英語に触れてもらえる機会を作りました。 ●入試のための作文添削や面接指導にも取り組み受験対策にも取り組みました。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●居場所づくりとしての機能を果たす一方、生徒の学習態度や学習意欲の向上、サポーターと生徒とのかかわり方について理解・意識を深めていく必要があります。 ●参加したくても交通手段がなくくることができない生徒のフォローをどうしていくのかを検討する必要があります。 ●ご協力いただける学生サポーターが減少傾向にあり、学生サポーターをどう確保していくか、検討をする必要があります。 		

5-⑧. 支援対象児童等見守り強化事業

事業目的	要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子どもの居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供等を通じた子どもの見守り体制を強化することを目的とします。						
事業実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月
		152回	129回	192回	177回	181回	160回
	令和5年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		157回	183回	161回	137回	161回	198回
		合計1,988回					
	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
140回		129回	167回	142回	124回	176回	

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
		159回	162回	165回	150回	123回	163回
		合計1,800回					
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●週1回を基本とする食事提供を通して、細やかな子どもの見守りを実施する事ができました。 ●関係機関からの依頼も増え、ニーズに即した見守り体制が構築されております。 ●子どもやご家族からの不安ごとや悩みをキャッチし、そのお話を聴く事で不安やストレスを軽減することができました。 ●関係支援機関とも協力体制が構築され、子どもやご家族からの相談に対して、迅速な支援がなされる様になり、子どもやご家族の不安の軽減につなげることができました。 ●不登校児童等、特に支援が必要な子どもに対しては、見守りやつなぎ支援のみならずボランティア活動への参加を促進したり、子どもの居場所づくりを実施しているボランティア団体にて一緒に時間を過ごすなど、当該児童にとっての所謂「thirdplace」の確立に努めました。 						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●支援を必要とする子どもやご家族は少なからず存在すると考えられ、この事業の周知をひろげていく必要があります。 ●一方で現在登録児童が50名を超え、1週間の食事提供数も100食を超える状況となり、受け入れ上限に達しており、如何にして受け入れを拡げていくか具体的な検討が必要となっています。 ●困っている子どもやご家族を支援する上での支援メニューが不足しており、さらに効果的な支援を創出する必要があります。 ●子どもやご家族には、それぞれの悩みや生活上の困難が存在しており、長期にわたり、継続的な見守りが実施できる体制づくりが必要です。 						

5-⑨. OBENTO PROJECT 事業

事業目的	<p>支援対象児童等見守り強化事業に登録されている子ども以外の家族や、その他経済的に困窮または、苦しい家計状況である家庭を支援するため、地元企業や地域住民の皆様が子どもたちを寄附金や寄附食材などで支えたいという気持ちと、地元企業や地域住民の皆様が「仕事」の提供を通じて支えられた「ありんこ」が今度は自分たちが「仕事」で地域貢献したいという気持ち、「地域交流の拠点」として地元で頑張っている「みんなの食堂こむすび舎@めいわ町」の皆様が困っている子ども家庭に手作りのお弁当を届ける活動で支えたいという気持ちが新たな出会い、この活動が生まれました。</p>						
事業実績	令和5年度 弁当無償提供数(食)						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	344	300	431	391	392	358	347
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	404	353	303	354	423	4,400	
	令和4年度 弁当無償提供数(食)						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
321	294	372	325	281	379	343	

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	350	356	322	268	363	3,974
事業実績	令和5年度 地域からの事業に対する寄附					
	寄附金	406,375円				
	寄附食材等	筍、ほうれん草、大根、きゅうり、トマト、ミニトマト、甘夏、キャベツ、春キャベツ、えんどう豆、お菓子、ホームランメロン、プリンスメロン、にんにくの芽、玉ねぎ、ズッキーニ、ジャガイモ、人参、菓子パン、ヤングコーン、かぼちゃ、栗えびすかぼちゃ、オクラ、ピーマン、バターナッツ、白なす、長なす、なす、乾燥めん、手焼きせんべい、大根、大根葉、みかん、冬瓜、缶詰、シイタケ、さつまいも、柿、ま菜、ブロッコリー、白菜、レタス、フードパック（弁当容器）、ねぎ、チンゲン菜、砂糖、ケーキ、里芋、かぶ、もち、その他冷蔵食品、冷凍食品多数 玄米・白米 計1,770kg				
	令和4年度 地域からの事業に対する寄附					
	寄附金	228,877円				
	寄附食材等	筍、ほうれん草、大根、きゅうり、トマト、ミニトマト、甘夏、キャベツ、春キャベツ、えんどう豆、お菓子、ホームランメロン、プリンスメロン、にんにくの芽、玉ねぎ、ズッキーニ、ジャガイモ、人参、菓子パン、ヤングコーン、かぼちゃ、栗えびすかぼちゃ、オクラ、ピーマン、バターナッツ、白なす、長なす、なす、乾燥めん、手焼きせんべい、大根、大根葉、みかん、冬瓜、缶詰、シイタケ、さつまいも、柿、ま菜、ブロッコリー、白菜、レタス、フードパック（弁当容器）、ねぎ、チンゲン菜、砂糖、ケーキ、里芋、かぶ、 玄米・白米・もち米 計2014kg				
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の皆様、支援機関、支援団体、多くの企業の皆様の「支え合い」の気持ちを食の支援という形で、生活にお困りの18歳未満の子どもがいる家庭にお届けする支援活動が継続的に実施できました。 ●活動を通して、あらゆる皆様からのご支援を頂戴し、この事業を通して目的の通り「支え合う関係づくり」に寄与されたものと考えられます。 ●この事業への協力を通して、他の福祉事業にも協力・賛同をいただける地域住民の皆様や関係機関・関係団体・企業が増え、一層の福祉活動推進が図られる様になりました。 ●事業に参画いただけるボランティアも明和中学校ボランティア部をはじめとして増えており、福祉活動を支える人材の活躍の機会にもなっていると考えられます。 					

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●地域にはまだまだ経済的に困りの子育て家庭が多く存在している事と考えられ、この事業の情報を必要な家庭へ的確に広報できることが重要であると考えられます。 ●寄附金額としては昨年度を大きく上回りました。継続的に多くの皆様より寄附を頂戴しており、今後も広報活動等を行うことで、発展的に事業展開がされる様に努める必要があります。 ●運営面においては、寄附金及び寄附食材に頼っている面が多く、継続的且つ発展的に事業運営を行うためにも、安定した財源を確保する事が重要となってきます。またこの事業に直接的に関わっていただけるボランティアの裾野をひろげていく必要があります。 ●ありんこ café 茶々の弁当生産能力の上限に達しており、今後、受け入れ態勢をひろげるための具体的な検討が必要です。
-------	--

5-⑩. ひきこもり支援推進事業

事業目的	ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、ひきこもりの状態にある本人や家族等を支援することにより、ひきこもりの状態にある本人の自立を促進し、本人及び家族等の福祉の増進を図ります。					
事業実績	◎令和5年度相談支援 *実件数：17ケース（うち家族支援のみ8ケース）					
	延べ相談件数		来所	電話・メール	訪問	合計
	本人支援	本人	33	92	121	246
		関係機関	10	123	73	206
	家族支援	家族	5	26	5	36
		関係機関	5	18	2	25
	合計		53	259	201	513
	◎早期発見・把握に関する活動、関係機関等との連携による支援					
	連携した機関・事業等			件数（重複あり）		
	明和町生活困窮者自立相談支援事業			3		
	明和町障害者生活支援センター			3		
	民生児童委員			2		
	支援対象児童等見守り強化事業（教育委員会）			7		
	地域包括支援センター			1		
	明和町			1		
◎居場所づくりの推進・ネットワークづくり						
連携機関等		件数	備考			
めいわ市民活動サポートセンター		3	青色防犯パトロール			
辻農産		1	農作業の提供			
小林農産		—	協力関係の協議			
世古口建設		1	短期アルバイト			

	竹の都商事	2	農作業の委託
	居場所の会	4	フリースペースべっぼの活用
	◎当事者・家族間の交流（家族おしゃべり会の実施）		
		開催日時	参加者数
	第1回	9月28日 13:30～15:00	5名
	第2回	11月27日 13:30～14:30	6名
	◎学習会の開催 日 時：令和6年2月10日 9:30～11:45 講 師：浜松学院大学短期大学部教授 志村 浩二氏 内 容：第1部 講演「ひきこもりの理解～その寄り添い方～」 第2部 講師を囲んでの相談会 参加者：34名（うち家族11名）		
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関へのチラシの配布、自立支援協議会や民生委員協議会における周知、めいわ広報や明和町LINEなどにより情報発信を行うことで、本人や家族、支援機関などからご連絡をいただき支援につながるケースがありました。 ●関係機関、関係事業等と連携し、ひきこもり世帯の把握、継続的な支援につなげることができました。 ●ひきこもり当事者が、有償ボランティア活動（めいサポ）や青色防犯パトロール活動などにおいて、地域福祉活動の貴重な担い手として活躍していただく機会を提供することができました。 ●「家族おしゃべり会」を開催し、家族の孤立感を解消し、一定の心理的負担の軽減を図ることができました。 ●学習会を開催し、家族や支援関係者などへの啓発を図ることができました。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も引き続き、支援窓口の周知を図るとともに、関係機関等とのネットワークの強化を図り、早期発見・把握、継続的な支援に取り組んでいく必要があります。 ●明和町の実情に応じた当事者の居場所のあり方についての検討を進めていく必要があります。 ●「家族おしゃべり会」においては、家族の孤立感の解消、心理的負担の軽減を図るために、今後も継続して実施していくことが求められます。 ●学習会を通じて、家族や地域の関係者が、ひきこもりに関心を持ち、理解を深めていくことによって、本人や家族の社会的孤立の予防・解消が期待できることから、今後も継続して実施していく必要があります。 		

6. 介護者支援に関する事業

6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）

6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付

6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付

事業目的	在宅で生活している高齢者や障がい者で、常時紙おむつを必要とされている方の経済負担を軽減することを目的としています。
------	---

事業実績			家族介護者支援 対策事業 (5,000円)	寝たきり高齢者 等紙おむつ券 (3,000円)	重度障がい者 日常生活用品 (3,000円)
	延べ配布 使用枚数 (枚)	令和5年度	163	60	121
	令和4年度	182	46	168	

※6-②、6-③の紙おむつ券給付事業（社協発行）は、令和5年度より1回3,000円から2,000円に減額しました。

6-④. 家族介護教室

事業目的	家族介護教室の参加者に対して、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等について知識、技術を取得できるようにします。
事業実績	<p>第1回：7月7日（木） テーマ 「お口は元気の源！安心安全な口腔ケア」（講演）90分 講師 三重県歯科衛生士会松阪支部 歯科衛生士 尾上 美和氏 参加者 35名</p> <p>第2回：9月9日（金） テーマ 「認知症の理解とケア」（講演）60分 講師 三重県立こころの医療センター 看護師 山本 孝子氏 テーマ 「地域包括支援センターの役割」（講演）30分 講師 明和町地域包括支援センター 保健師 中瀬 春香氏 参加者 34名</p> <p>第3回：11月10日（木） テーマ 「ピンシヤン 元気で 長生きを!!」（講演）90分 講師 エッセイスト 谷口 照男氏 参加者 36名</p>
事業評価	<p>第1回：昨年度行った事業所へのチラシ配布は申込増につながらなかったため実施せず、広報めいわへの掲載と介護予防教室利用者やボランティアグループ、老人クラブ等に直接案内する事で、例年程の参加者数となりました。口腔ケアが全身の健康につながる事を学んでいただく良い機会となりました。アンケート結果から、参加者は定期的に歯科受診をしている方が多かったです。また質問事項の記入も多かったことから、口腔ケアの取り組みについて重要である事を理解していただいたように思います。自宅でも継続し習慣化する為には、機会があるごとに口腔ケアの重要性を伝えていく必要があると思います。</p> <p>第2回：認知症に関しては、皆様とても関心のあるテーマとなっています。認知症の症状や対応をしっかり学んでいただきました。内容が盛りだくさんだった為、次回の企画ではポイントを絞った内容も良いかもしれないと感じました。アンケート結果より、介護や生活の悩みを相談する所がみあたらないという方が多かったため、地域包括支援センターの役割を紹介できた事は良かったと思います。</p> <p>第3回：介護予防に関するテーマでの講演会は、興味関心をひく講演会の開催を企画する事で、介護予防に感心ある新しい参加者の申込がありました。コロナ禍で、外出の機会が少なくなっていました方へも、ユーモアを交えた内容で、楽しく健康寿命を延ばすための講演を学んでいただけたと思います。</p>

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●参加者が固定化している部分があり、必要とする方をどのように探していくかが課題です。参加者の幅をひろげていく事が必要です。 ●介護をされている方は、ケアマネジャー等から必要な情報を得る事ができるので、これから介護に携わる方や介護予防が必要な方々に必要な情報を提供できる企画を実施していきます。
-------	---

7. 福祉教育に関する事業

7-①. UMOUプロジェクト

事業目的	<p>使用しなくなった羽毛製品を、貴重な資源として再生させるため、地域の人々が小学校の資源回収時などに寄附し、小学生と「ありんこ」利用者が協力して回収作業を行うことで、地域住民も、小学生も、「ありんこ」利用者も、同じ地域で暮らす住民として、つながりを感じてもらえる一つの場となればという思いを持っています。</p> <p>また、回収された羽毛製品をエコランドが買取り、募金として赤い羽根共同募金へ募金、その募金は小学校へ配分し子供たちが自分たちの福祉活動に使っていただくことでさらなる福祉教育の充実になります。</p> <p>さらに、羽毛製品の解体を「ありんこ」利用者が行うことにより、障がい者の就労支援にもつながっています。</p>							
事業実績		小学校分			地域分			合計 (枚)
		1 kg 以上	1 kg 未満	ダウンジ ャケット	1 kg 以上	1 kg 未満	ダウンジ ャケット	
	令和5年度 (うちイオン分)	25	5	19	56 (3)	39 (1)	47 (4)	191
	令和4年度 (うちイオン分)	30	10	25	49 (13)	12 (3)	33 (12)	159
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校区での廃品回収活動での呼びかけや参加を継続する中で、昨年度実績を上回る事ができました。 ●特に地域住民の皆様から持ち込んでいただく事が昨年度に比べ大幅に増加しました。 ●イオンモール明和店での回収等を継続した事で、周知がひろがった事が考えられます。 							
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●各小学校の羽毛回収は、小学校により回収枚数の差が大きくなり、各校のPTAへの広報活動を継続していく必要があります。 ●修正小学校が廃校となった事も含め、再来年度には大淀小、下御糸小、上御糸小が統合される事を受けて、各小学校区廃品回収での呼びかけの形を変える必要があります。 							

7-②. 福祉協力校 (各小中学校への福祉活動補助)

事業目的	<p>小・中学校の児童・生徒に地域住民との交流など、福祉体験活動や、ボランティア活動を進めることで、さまざまな人々と自然に交流できる態度や、地域福祉への関心を育むことを目的としています。</p>
事業実績	<p>大淀小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明和町社会福祉協議会の福祉出前授業にて車椅子、アイマスク、白杖体験を実施 (4年生) ・ 地域の高齢者施設への訪問、交流活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大状況により社会福祉施設等への訪問活動を自粛 ・ 「花いっぱい運動」プランターへの花植えを実施、児童がその花を育て感謝と歓迎の気持ちを込めて入学式・卒業式の式場に飾る ・ 浜辺の集会にて6月7日に全校児童が大淀海岸のごみを集め、その後砂による造形活動を行った ・ 登下校の見守り活動をして下さっている東区・三世古・山大淀地区の老人会20名を招いて、「感謝を伝える集会」でスイトピーの苗を送り感謝の気持ちを伝えた ・ 学校日より、学年日よりでの広報活動 (浜辺の集会ボランティア、見守り隊に感謝の気持ちを伝える会、6年生奉仕作業、パンジー、チューリップの栽培) ・ 学習発表会に地域の高齢者を招待する計画だったが、新型コロナウイルス感染拡大状況により自粛 ・ 学校敷地内の除草作業を実施
	<p>上御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年・学校通信で活動紹介 ・ 地域の高齢者の方々から昔の遊びを教わることを通じて楽しく交流する予定であったが、インフルエンザ流行期と重なり、中止となる ・ 新入学予定児童へのプレゼント作成、贈呈、学校探検やゲームで交流を実施 (5年生) ・ 明和町社会福祉協議会の福祉出前授業にて町内在住の視覚障がい、身体障がいの方と交流しながら車椅子体験、アイマスク、白杖体験を実施 (4年生) ・ 環境美化活動 (花を育て、自然を大切に作る心を育む) ・ 環境委員によるリサイクル活動 ・ 学校内や敷地内の清掃に努め、児童の学習環境を整備した ・ 「そらぁれひと美己書道場」さんに来ていただいて「己書 (おのれしょ) を描く指導を受け、児童が自身の思いを字で表現した (6年生) ・ 度会特別支援学校に在籍する児童が1名来校し、交流授業を実施、交流した様子を模造紙にまとめ校内へ掲示 (5年生) ・ 講演会、社会福祉施設訪問交流会は、コロナウイルス感染拡大防止の為計画したが実施は中止
	<p>下御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校日よりと学級だよりにて諸活動の紹介 ・ 菰川に生息ふる生き物調査、環境保全活動、(3・4年生) ・ 学校近くの生き物探し (1・2年生) ・ 車椅子や高齢者体験など福祉学習 (4年生) ・ 地域の方に明和音頭を教えて頂いて交流をおこなった (低学年) ・ 校舎花壇、畑の整備、花を育て入学式・卒業式の式場を飾る (1・2年生) ・ 地域に出向いて稲作体験 (5年生) ・ 野菜を育てる (全学年) ・ UMOUプロジェクトへの協力

	<p>齋宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を学校新聞、学級新聞、掲示板へ掲示、広報 ・地域の竹林整備ボランティアの方々と学習会、体験活動（4年生） ・校内美化活動、花いっぱい運動 ・「台湾生徒との英語による交流」（6年生） ・「多文化共生講座」（5年生） <p>明星小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会主催全校にあいさつ運動、いじめ防止を目指す活動 ・地域の方に指導を受けサツマイモ作りの体験、感謝を伝える（1年生） ・地域の方と代掻き、田植え、稲刈り、脱穀の体験、地域の方が収穫されたお米の贈呈式で感謝の気持ちを伝える（5年生） ・園芸委員、環境美化委員が校内外美化活動（花を植え、入学式・卒業式の式場に飾る） ・特別支援学校の児童との交流 ・6年生への感謝の気持ちを伝える創作活動（1～5年生） ・昔の遊び道具作り（1年生） ・パラスポーツ陸上の選手を招き、パラスポーツの理念や挑戦することの大切さを学ぶ（4年生、6年生） ・障がいのある方を招いてバリアフリーに関する学習を行った（4年生） ・環境美化学習、パッカー車の見学を通してゴミ問題について考えた（4年生） <p>明和中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の壁新聞にてボランティア活動紹介又、全校生徒へ配布 ・OBENTO PROJECT 活動参加 ・地域の方の協力の下、学校の畑で野菜の栽培し OBENTO PROJECT に活用 ・赤い羽根共同募金活動に協力（街頭募金活動） ・校内美化活動・環境整備活動（花いっぱい活動） ・子ども食堂イベントに参加、活動 ・竹神社こどもイベントに参加、活動
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍で中止となった計画もありましたが、感染予防対策を行いながら地域の方々との対面での交流を実現されています。 ● 地域のボランティアの方々との交流や福祉出前授業での当事者さんとの交流を通じ、感謝の心を育む活動が実施できています。 ● 地域の清掃活動や地域の方々と共に自然に触れる体験を通じて、地元の自然を大切にする心、郷土愛を育む活動に力を入れていただいています。 ● 農業体験や昔から継承されてきた地域の特産品の加工見学等、様々な体験を通して日常ではなかなか体験出来ない活動を積極的に取り入れ授業を行っていただいています。 ● 普段子供たちが接する機会が少ない方々を学校に招いて、子供たちの広い視野を広げる活動にも取り組まれています。 ● 令和5年度は福祉教育の依頼を多数いただき、特に明星小学校と下御糸小学校からは複数の項目をシリーズで実施されており、各団体や障害者施設等とも交流を深める取り組みがされています。 ● 障がい者スポーツ選手の講話や交流を通じて障害者スポーツの存在を学び、障がい者や他者への理解を深め、挑戦することへの大切さを学ぶ機会をつくられています。

7-③. 福祉体験教室

<p>事業目的</p>	<p>地域のボランティアグループや、障がいを持つ当事者の生の声を聞くことや、「体験」を通じて理解を深めていただくために、福祉体験教室を実施しています。相手の立場になって考えたり、共感したりすることのできる温かい心、ボランティアなどの社会貢献をしたいという心を大切に、「ともに生きる力」を育むとともに、自立した個人が、互いにその存在を認め合い、関わりを大切にしながら生きていくという「地域共生社会」の考え方を大切にしています。また将来にわたって自分が住み慣れた地域の福祉に対する理解や関心を持ち、地域社会の中で一人の住民として成長することにより、自ら地域のネットワークづくりに積極的に関わろうとする意識を高めることを目的としています。</p>			
<p>事業実績</p>	<p>令和5年度</p>	<p>体験内容</p>	<p>小学校名</p>	<p>体験生徒数</p>
<p>アイマスク・白杖 ・車椅子体験</p>		<p>大淀小学校</p>	<p>4年生（18名）</p>	
<p>上御糸小学校</p>		<p>4年生（33名）</p>		
<p>明星小学校</p>		<p>4年生（42名）</p>		
<p>下御糸小学校</p>		<p>4年生（12名）</p>		
<p>点字体験</p>		<p>明星小学校</p>	<p>4年生（42名）</p>	
<p>下御糸小学校</p>		<p>4年生（12名）</p>		
<p>障がい者交流</p>		<p>下御糸小学校</p>	<p>4年生（12名）</p>	
<p>高齢者施設訪問</p>		<p>下御糸小学校</p>	<p>4年生（12名）</p>	
<p>高齢者疑似体験</p>		<p>下御糸小学校</p>	<p>4年生（12名）</p>	
<p>手話体験</p>		<p>明星小学校</p>	<p>4年生（42名）</p>	
<p>福祉専門職講話 ワークショップ</p>		<p>明星小学校</p>	<p>4年生（42名）</p>	
<p>ダイバーシティ ボードゲーム</p>	<p>明野高等学校 福祉科</p>	<p>全学年（97名）</p>		
<p>事業実績</p>	<p>令和4年度</p>	<p>体験内容</p>	<p>小学校名</p>	<p>体験生徒数</p>
<p>点字体験</p>		<p>大淀小学校</p>	<p>4年生（13名）</p>	
<p>アイマスク・白杖 ・車椅子体験</p>		<p>大淀小学校</p>	<p>4年生（14名）</p>	
<p>上御糸小学校</p>		<p>4年生（43名）</p>		
<p>事業評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は高等学校を含む5校から依頼があり、地域の当事者の方にも協力・参加いただきました。当事者の方々との交流の中で、高齢・障害を中心に様々な人が共存しているという事について理解を深め、関心を持ち、気付きや視野を広げる学びの機会を作ることができました。 ●車椅子体験では車椅子の乗車、介助以外にも福祉車両の見学、乗車、介助体験も実施しました。 ●体験後には子どもたちと当事者間でメッセージを送り合い、思いやりの心、感謝の気持ちを育む交流が生まれました。 ●点字体験ではボランティア団体の活躍と広報の場になり、コロナ禍が続き活動が縮小している中でボランティア団体のモチベーションを保つ機会となりました。 ●昨年度に引き続き、近鉄五十鈴川列車区で駅員の方を対象に高齢者疑似体験、白 			

	<p>杖体験、車椅子介助体験、視覚障がい者との意見交換会を2回実施することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近鉄五十鈴川列車区においても、当事者である障がい者との意見交換の機会を通じ、相互に理解する学びの場をもつことができました。 ●福祉出前授業を通じて学校、子供たち、社協とのつながりをもつことができました。 ●イオンモール明和店でのSDGsイベントにおいて、ボッチャ、SSピンポン等、パラスポーツ体験コーナーの他、ダイバーシティボードゲーム「IROIRO」の体験会を行い、150名を超える来場者に多様性を学ぶ機会を提供しました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も町内各小学校で実施できるよう、PR活動を行っていきます。 ●当事者、めいわサポーター、ボランティア団体、民生委員等の地域住民の協力を得ながら共に参加していただける体験授業を実施していきます。 ●今後も三重県身体障がい者スポーツセンターとスポーツ指導員の協力を得ながら障がい者スポーツ体験授業を実施していきます。 ●様々な視点からの気づきや共感が得られ、互いに認め合い助け合う心が育まれる効果を生み出せるよう、一回で終わらず連続性を持たせた授業を展開していく工夫が必要です。 ●福祉体験授業としては、一定の効果を感じていただける内容になっていますが、この体験を通じて学んでいただいた体験後の子どもたちの成長に合わせた、さらなる学びの機会につなげ、学校と継続したつながりが持てるよう工夫していくことが必要です。

7-④. ボランティア・サマースクール

事業目的	夏休み期間を利用して、小学生を対象にボランティア・サマースクールを実施しています。福祉施設等でボランティアを体験することで、思いやりの心を育むとともに、ボランティアを始めるきっかけづくりや、ふれあい、交流することにより、みんなが共に生きることを学ぶことを目的としています。			
事業実績		開催日数	参加人数	内 容
	令和5年度	1	16 (保護者4名含)	みんなでクッキング
	令和4年度	1	33	なつまるフェスタでのスタッフ体験
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●例年、小学生が日常生活で接することの少ない地域の障がい者の方や普段経験することの少ない体験を事業の中で経験していただく企画を実施しています。今年度は令和3年度に企画したものの、コロナウィルス感染拡大により中止となった、町内の福祉事業所である第2南勢就労支援センターとの交流を主として開催を行いました。 具体的には同事業所利用者さんが作る「わくわくジャム」を使ったランチメニューに参加小学生と利用者さんが一緒に作り食べるというもので、食事の後はeスポーツを通して交流を深めるという内容で企画しました。 ●30名を超える申し込みをいただきましたが、調理室の都合で抽選の上、上記参加人数にて開催を行いました。 ●第2南勢就労支援センター利用者さんと楽しいクッキングを通して交流を深める事ができ、参加者アンケートにおいても満足いただけた様子が伺えました。 ●低学年の参加者は保護者同伴という形を取らせてもらった事で、保護者にも利用者さんとの交流を楽しんでもらえました。 ●マスコミにも取材いただき、ひろく啓発することができました。 			

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●調理の時間が大幅に長引いてしまい、e-スポーツを通じた交流に十分な時間を掛ける事ができず、改善が必要です。 ●障がい当事者（利用者さん）の役割をもっと明確化する事で、より密な交流ができたものと考えられ、改善が必要と考えられます。 ●参加者は大変喜んでくれていましたが、調理という性質上、多くの子ども達に参加してもらおう事が難しく、企画自体の再考が必要です。
-------	---

8. ボランティアセンター運営事業

事業目的	地域住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、個人ボランティアや団体ボランティアの育成及び活動の援助を行います。
事業実績	<p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明和町点字サークル：点字指導 小学校（2回） ○おはなし小槌：大型紙芝居・読み聞かせ ふるさと会（12回）、いつきのみや歴史体験館（2回）、明和町社協ありんこ（2回） ○明和鈴の音会：広報めいわ録音（12カ月） ○コーラス斎王：コーラスのイベント 町外（1回） ○業平夢太鼓：イベント太鼓演奏（5回）、子供の居場所地域交流イベント（4回） ○琴の葉：大正琴演奏 えんがわ教室（3回）、明和の里（1回） ○Cherry&grape：えんがわ教室（3回）、町内（3回）町外（2回） ○おたがいさん：生活支援（15回）、地域支援（10回）、サロン活動（6回） ○明和マジッククラブ：えんがわ教室（4回）、町内（19回）、町外（6回） ○アラピカケ：えんがわ教室（6回） ○楽しい読み聞かせの会：えんがわ教室（6回） ○横笛倶楽部：えんがわ教室（13回）、町内（2回）、町外（6回） ○ご近所サロンカフェ寺ス：サロン開催（22回・参加延人数214名）、花まつりイベント（1回・参加者98名）、オータムコンサート（1回・参加者71名）、平和の鐘イベント（1回・参加者77名） ○竹茗舎：小学校での竹学習（3回）、竹のイベント（1回） ○FreeZ：お庭イベント：（1回） ○淀の会：お花見会・健康イベント（2回）、園内の剪定・草取り整備・水やり随時 ○上野おしゃべり女子会：サロンイベント（10回）上映会（1回） ○SANMA BESE：イベント（4回） ○子育てサロン鈴の種寧：サロン（13回） ○ココつな：イベント（2回） ○防災ボランティアプラス1：防災講座（3回） ○えがおの輪 project：子ども食堂イベント（1回） ○認知症カフェひまわり：サロン（4回） <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明和町点字サークル：点字指導 小学校（1回） ○おはなし小槌：大型紙芝居・読み聞かせ ふるさと会（12回）、いつきのみや

<p>歴史体験館（2回）</p> <p>○明和鈴の音会：広報めいわ録音（12カ月）</p> <p>○コーラス齋王：コーラスのイベント 町外（1回）、みょうじょうこども園（1回）</p> <p>○業平夢太鼓：イベント太鼓演奏（2回）、春祭り地域交流（1回）</p> <p>○琴の葉：大正琴演奏 えんがわ教室（7回）</p> <p>○Cherry&grape：下御糸老人会（1回）、なでしこ（1回）</p> <p>○おたがいさん：生活支援（6回）地域支援（10回）、お楽しみ会（2回）</p> <p>○明和マジッククラブ：えんがわ教室（8回）</p> <p>○アラピカケ：えんがわ教室（7回）</p> <p>○楽しい読み聞かせの会：えんがわ教室（5回）</p> <p>○カントリーずう：えんがわ教室（6回）</p> <p>○横笛倶楽部：えんがわ教室（4回）</p> <p>○ご近所サロンカフェ寺ス：サロン開催（33回・参加延人数496名）</p> <p>○竹茗舎：小学校での竹学習（2回）、竹のイベント（1回）</p> <p>○淀の会：お花見会（1回）、イベント（4回）、 園内の剪定・草取り整備・水やり随時</p> <p>○上野おしゃべり女子会：サロンイベント（10回）</p> <p>○SANMA BESE：イベント（10回）、キャンプ（1回）</p> <p>○子育てサロン鈴の種寧：サロン（11回）</p>
--

9. くらしの相談・支援事業

9-①. 成年後見制度に関する事業

事業目的	認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方々の権利を擁護することが、成年後見制度の目的です。令和4年4月に中核機関を受任し、本会では本制度の普及啓発、申立支援等の利用促進、法人後見受任体制づくり、住民の後見活動や親族後見のサポートができる体制づくりに取り組んでまいります。						
事業実績	○令和5年度						
	相談者	本人	親族	関係機関	その他	合計	
	延べ件数	8	25	49	1	83	
	相談方法	電話	来所	訪問	メール	合計	
	延べ件数	52	19	11	1	83	
	相談内容	制度説明	申立支援	受任調整	同行支援	関係機関との連絡調整	その他
延べ件数	14	35	0	1	9	24	83

	広報・啓発		内容					
	令和5年1月20日		演題：「新・認知症になった波平」～契約社会と成年後見制度～ 講師：渡辺 哲雄氏 参加者数：71名					
	○令和4年度							
	相談者	本人	親族	関係機関	その他	合計		
	実件数	17	19	9	1	46		
	相談方法	電話	来所	訪問	メール	合計		
	延べ件数	54	13	15	0	82		
	相談内容	制度説明	申立支援	受任調整	同行支援	関係機関との連絡調整	その他	合計
	延べ件数	25	22	0	2	7	18	74
	広報・啓発		内容					
	令和5年1月29日		演題：「田んぼの神様」 演者：一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター三重支部 参加者数：58名					
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度はご本人から将来に備えての不安などによる相談が最多でしたが、5年度は申立者となるご親族からの申立て相談が増加しました。 ●関係機関からの相談が急増しました。当センターが関係機関へ広報・周知されつつあること、相談を受けるなかで連携が強化できた結果と受け止めます。 ●相談方法は電話が最多でしたが来所による対面での相談が増加しました。 ●令和4年度は制度説明の相談が最多でしたが、本年度は申立支援の相談が最多となり一歩踏み込んだ相談が増加しました。 ●地域や福祉、行政に司法を加えた多様な分野が連携するしくみ(権利擁護支援の連携ネットワーク)の基盤ができました。 							
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●相談方法に関して、メールでの問い合わせが0件でした。今後は明和町社協公式LINEの周知等、幅広い相談窓口づくり設置に努めます。 ●講演会の参加年齢層は70代～80代で60%を占めていました。今後は障がい者(児)を抱える親御さんや若い世代に興味関心をもっていただくよう、広報や講演会に工夫を凝らし取り組みたいと思います。 ●中核機関としての役割が充実したものとなるよう、連携ネットワークの更なる強化に取り組みます。 							

9-②. 日常生活自立支援事業（権利擁護）

事業目的	判断力が十分ではない高齢者や障がい者に対し、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を通じて、安心した生活を送れるよう支援することを目的としています。					
事業実績	○令和5年度 対応人数：30人 支援回数：平均43回/月					
	区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
	相談件数	58	5	22	57	142
	実利用者数	10	9	9	2	30
	新規契約者数	2	0	2	2	6
	解約者数	1	2	2	2	7
	○令和4年度 対応人数：31人 支援回数：平均36回/月					
	来所	電話	訪問	合計（回）		
利用者	71	618	224	913		
関係機関	295	678	242	1,215		
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援員11名の方々に支えられ、利用者の生活支援を行ってきました。 ●解約理由としては死亡4名、本人希望2名、成年後見への移行1名です。 ●31名の利用者のうち、20名が在宅生活（サ高住舎）を送られています。地域での生活を支えるという本事業の目的にふさわしい体制を関係機関との連携を密にすることで達成することができました。 					
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●判断能力の低下やとりまく環境から成年後見への移行が望ましいと思われる利用者も存在します。めいわ成年後見サポートセンターを核に連携ネットワークを活用しながら適切な時期に移行していけるよう取り組んでいきます。 ●複合的な課題を抱えた利用者が増えています。幅広い知識や関係機関とのつながりを深めていくことが必要です。 					

9-③. 生活困窮者自立支援事業

事業目的	専門の支援員が相談者に寄り添いながら一人ひとりの状況に合わせた支援プランの作成や、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。					
事業実績	家計改善支援0件、住居確保給付金申請2件 学習支援4件					
	令和5年度	来所	電話	訪問	合計	
		利用者	73	53	24	150
		関係機関	15	57	4	76
	家計改善支援1件					
	令和4年度	来所	電話	訪問	合計	
		利用者	49	182	70	301
関係機関		29	152	9	190	

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●一次相談窓口として地区福祉委員会、地区民生委員懇談会で広報を行い周知に努めました。 ●明和町健康あゆみ課や三重県生活相談支援センター（県社協）、多気度会福祉事務所をはじめとする関係機関との連携を密にすることができました。 ●困窮の相談を機に、生活福祉資金、一般介護予防教室、学習生活支援事業、OBENTO PROJECT、ひきこもり支援推進事業等へ展開し、継続的なかかわりができる体制に努めることができました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●困窮者の中には複数の問題を抱えている家庭が多く、児童、障がい、高齢分野など多職種・他機関との連携強化、協働が今後ますます求められます。 ●当事者が孤立することなく自立へとすすめるよう、継続的な支援、地域での支えあいや見守りができる仕組みづくりをさらに進めていく必要があります。

9-④. みえ福祉の「わ」創造事業

事業目的	<p>少子高齢化の進行や雇用形態の変化、核家族や単身世帯の増加などの家族の変容の中にあって様々な生活課題を抱える方が多くなっています。その中で「制度の狭間」から生じる生活課題を抱える方の支援のうち、地域の課題解決に取り組むために、社会福祉法人の協働による三重県社会福祉法人地域公益活動「みえ福祉の『わ』創造事業」を実施しています。</p>			
事業実績	令和5年度	食糧支援：10世帯（14回） 就労支援：1件	緊急支援：0件	
	令和4年度	食糧支援：5世帯（10回） 緊急支援：0件	就労支援：0件	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県生活相談支援センター（県社協）と協働しながら、その他関係機関との連絡・調整を図り困窮者支援に取り組みました。 ●物価上昇等、社会情勢の変化が著しく1回の食糧支援にとどまらず、複数回の食糧支援を要する世帯も散見され、継続的支援における有効な支援ツールとして活用されています。 ●家計相談に始まり就労中の支援と継続的な関わりの中なか再就職へと結びついたケースも1件ありました。 			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急的な支援にとどまるのではなく就労支援や家計改善支援など早い段階から積極的なかかわりを進めることで、生活の立て直しができる支援体制づくりが必要です。 ●複合的な課題を抱えた世帯が多いため分野や機関を超えた連携が必要です。生活保護世帯においても制度の垣根を超えた協働をどのようにすすめていくか、今後検討が必要です。 			

9-⑤. 生活福祉資金の貸付

事業目的	<p>資金の貸付と必要な援助や指導を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の助成促進、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的としています。</p>				
事業実績	令和5年度	相談実績 (件)	来所	電話	訪問
		利用者	24	40	1
		関係機関	4	45	1

		相談実績 (件)	来所	電話	訪問
	令和4年度	利用者	39	114	5
		関係機関	8	116	0
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ特例貸付は終了しましたが食品価格や光熱費の値上げなど日常生活に影響を及ぼす状態が現在も続いており生活困窮に関する相談が数多く寄せられています。 ●貸付相談を機に OBENTO PROJECT、困窮者自立支援事業、ひきこもり支援推進事業等あらゆる事業と一体的に取り組むことができました。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度、相談受付から申請に至ったケースは緊急小口資金1件にとどまりました。生活相談窓口としての広報・啓発、アウトリーチによるニーズの発掘も取り組んでいく必要があります。 ●貸付け後の継続的関わりが希薄になりがちです。三重県社会福祉協議会との連携を図りながら継続的関わりがとれるように取り組みます。 				

9-⑥. 地域福祉金庫の貸付

事業目的	生活困窮者が生活を営む中で、不時の出費を必要とする場合に貸し付けることにより、円滑な社会生活をおくれるように支援します。						
事業実績		前年度 未償還額 (円)	貸付数 (件)	貸付額 (円)	償還額 (円)	徴収不能額 (円)	未償還額 (円)
	令和5年度	492,459	28	534,000	659,459	10,000	372,000
	令和4年度	451,500	40	950,983	910,024	0	492,459
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●貸付だけで終わらせるのではなく三重県生活相談支援センターや福祉事務所と連携を図り、支援に取り組みました。 ●緊急的に生活費を必要とする相談者にスピーディーに対応する事で、窮地を支援することにも繋がっています。 ●定期的な電話連絡や文書送付など償還業務にも積極的に取り組みました。 						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●償還に伴う生活相談等も業務量の増加に伴い、きめ細やかな相談支援の展開が難しい状況が起こっています。 ●未償還者と長期的に連絡が取れないケースもあり、対応策の検討が必要です。 ●1回の貸付では改善が見られず、償還完了と同時に再度の貸付を申請されるケースが散見され、課題解決に向けて長期にわたり支援を必要とするケースが存在しています。 ●令和5年度より貸付回数を3回まで上限を定めました。今後は上限に至るまでに生活設計の立て直しに見通しが立つよう、相談者の意識変容を後押し、支援に取り組みます。 						

10. 一般介護予防事業

10-①. えんがわ教室

事業目的	65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態にならないように、必要に応じた介護予防のための事業利用を通じ、その居宅および地域において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるよう支援します。						
事業実績	延人数 (実人数)	令和5年度 (192日)	大淀①	大淀②	上御糸	下御糸	合計人数 2,427 (120)
			273 (14)	423 (21)	163 (10)	427 (26)	
			いつき	勝見	明星①	明星②	
			343 (16)	308 (15)	301 (13)	189 (5)	
	(開催日数)	令和4年度 (168日)	大淀①	大淀②	上御糸 下御糸		合計人数 2,175 (107)
			303 (14)	456 (23)	184 (9)		
			いつき	勝見	明星①	明星②	
			395 (20)	305 (14)	348 (15)	184 (12)	
	年齢 (人)		65～74	75～79	80～84	85以上	合計人数
		令和5年度	16	20	44	40	120
令和4年度		3	14	44	46	107	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度も消毒、換気等感染症対策を継続し、参加者の方にもマスク着用等感染症対策にご協力いただき、教室を中止することなく開催することが出来ました。 ●利用者からの紹介、広報めいわへ事業案内、参加者募集を掲載し、新規利用につながりました。中止者については入院や病気の悪化により介護保険事業所へ移行された方が多くみられました。 ●これまで上御糸地区と下御糸地区利用者は上御糸ふれあい会館にて実施していましたが、ニーズ調査の結果から令和5年度より下御糸地区利用者は新たにみいと会館での実施を開始しました。近い場所なので参加しやすい等の声が多く、おしゃべりも楽しみながら地区住民の交流の場となっています。 ●運動指導について、椅子に座って出来るストレッチ、筋力トレーニングに取り組むことができました。自宅でも取り入れていただけるようプリントを配布し、それを見ながら取り組む方が多いです。体力測定は2回実施し、結果の比較をしながら理学療法士からアドバイスをいただきました。マット上でステップを踏むスクエアステップでは認知機能向上、転倒予防の効果が期待できる運動プログラムであり、講師の手本を見ながら集中して取り組まれていました。 ●口腔衛生指導では、歯科衛生士による歯の磨き方など口腔ケアの方法、口腔体操についてご指導いただきました。口腔機能低下についてアンケートを行うことで口腔状態の把握が出来ました。講師の方にアンケート結果をその場で確認いただき、質疑応答の時間では口腔内の悩みや気になることを確認することが出来ました。口腔ケアを怠る事で全身の病気と繋がることを指導していただき、口腔ケアの大切さを 						

	<p>再認識していただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●栄養指導では、高齢者のたんぱく質摂取の必要性についてご指導いただきました。今年度も調理実習は中止し、積極的にたんぱく質を摂取していただけるよう、火を使わずに電子レンジで作れるもの、またコンビニやスーパーで気軽に手に入り、ほぐしてすぐ使えるサラダチキンを使った簡単なレシピを配布しました。「教えてもらったレシピで早速作ったよ」と参加者同士で料理の写真を見せ合う場面も見られました。体調不良等で食欲がないときでも簡単にカロリー摂取ができる食品の紹介もしていただきました。 ●音楽療法では、馴染みのある懐かしい歌を歌いながら体を動かす体操、様々な打楽器を使用し全員で歌いながら演奏するなど、二重課題を楽しみながら取り組むことが出来ました。また、昔を思い出しながら歌に合わせて炭坑節を踊り喜ばれていました。 ●今年度も脳トレプリントを宿題として配布し、自宅での活動の1つとして取り入れることができました。参加者同士で問題を一緒に考える様子もみられ、参加者同士の良い刺激となっています。 ●運動の習慣づけのため開催日には必ず全員が取り組める体操を取り入れ実施しています。自宅でもラジオ体操を毎日継続している方が多くみられます。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の中でも特に高齢の方は免許返納等により徐々に外出の機会や交流の場が減少しています。地域の交流の場のひとつであるえんがわ教室では、感染症対策を行ないながら参加者同士が意欲的に参加、交流が出来るプログラムを作り、閉じこもり予防につなげていきます。 ●参加者の高齢化により視力・聴力の低下、また、手の震えや痺れで思うように手が動かさない方もいます。参加者の機能に合わせたプログラムの実施や、安心して参加していただけるよう必要に応じて職員がサポートする環境作り、意欲低下の防止、日々の生活の張りとなるようなプログラムを実施していきます。 ●中止理由の中では転倒、筋力低下に伴う足腰の不調が原因で中止に繋がるケースが半数近くを占めています。在宅生活の現状維持ができるよう、引き続き運動の習慣づけと継続の重要性を促していきます。 ●参加者の高齢化に伴い参加者が減少しています。今後も定期的な広報めいわの活用や地域のサロン等に出向く等、周知方法を検討していきます。

10-②. 筋力脳力あっぷ教室

事業目的	65歳以上の方を対象に運動と認知能力向上に特化した内容で実施することで早期から身体の維持向上、軽度の認知症改善を図り、心身の機能低下を予防していく。そして可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができることを目的としている。					
事業実績		開催日数	延人数（実人数）			
			男性	女性	合計	サポーター数
	令和5年度	183日	476 (146)	2,240 (690)	2,716 (836)	493 (152)
	令和4年度	184日	664 (201)	2,262 (713)	2,926 (914)	610 (192)
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●年間開催数 火曜日45回、水曜日46回、木曜日46回、金曜日46回 合計183回 運動指導について 理学療法士指導 100回 スタッフ体操 83回 					

	<p>【筋力あっぷ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理学療法士による運動指導はストレッチ、筋力トレーニング、バランスエクササイズを毎回実施し、不定期に二重課題を実施しました。20分程度の講話（糖尿病、認知症、フレイル、熱中症、COPD、心疾患）を6回開催しました。 ●今年度より体力測定に保健師の協力を得て測定項目の意味づけ、目標設定の意識づけを重点的に取り組みました。 <p>《栄養指導》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講義1週間前に10品目食品チェックの宿題をお渡しする事により、バランスよく食べる事の意識づけができました。講義の内容もクイズ形式にしたことで楽しく講義を受けてもらうことができました。 <p>《口腔指導》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和され、安心した状態で口腔指導を受けていただく事ができました。毎日の口腔ケア、パタカラ体操を取り入れてもらうために半年分の宿題を出すことで意識づけができました。 <p>《音読・計算・数字盤》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音読では時折早口言葉を入れるなど工夫を凝らしました。計算や数字盤もタイムを意識し取り組みました。時間がかかる利用者には、あきらめずにやり遂げられるよう、サポーターの協力を得ながら支援しました。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本教室のあり方について改革を求められています。参加者が目的意識をもち本教室に参加し、主体的に介護予防に取り組めるしくみづくりを今後も協議していきます。 ●レクリエーションにおいても生活リハビリとなるようなゲームを取り入れるなど日常生活に結び付くような内容を検討していきます。 ●高齢化が進み免許返納で送迎対応が増加しています。現状では送迎に限界が生じているため今後の対応について検討していく必要があります。 ●サポーター数が減少傾向となっています。ボランティア担当や地域包括支援センターと協働しながらサポーターとして社会参加してもらえる方を見出す取り組みが必要です。

II. 令和5年度 各事業利用実績

1. 居宅介護支援事業プラン作成実績

(実人数：人)

提供月	要支援 1		要支援 2		事業 対象者 ケアマ ネジメ ントA	予防+A 合計	居宅介護支援						総合計
	予防	ケアマ ネジメ ントA	予防	ケアマ ネジメ ントA			要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	介護 合計	
4月	4	4	22	10	0	40	53	49	32	18	11	163	203
5月	1	5	26	13	0	45	52	53	33	19	10	167	212
6月	3	5	25	14	1	48	55	55	35	17	9	171	219
7月	3	5	27	13	1	49	57	51	34	18	9	169	218
8月	3	5	28	11	1	48	56	53	37	20	8	174	222
9月	4	5	28	11	0	48	59	55	35	17	10	176	224
10月	4	4	28	11	0	47	62	57	36	16	10	181	228
11月	4	5	30	11	0	50	61	56	36	14	11	178	228
12月	4	4	29	11	0	48	60	58	33	14	12	177	225
1月	4	5	31	12	0	52	62	57	33	15	10	177	229
2月	6	4	29	12	0	51	61	57	31	11	11	171	222
3月	6	4	30	12	0	52	58	62	30	12	11	173	225
合 計	46	55	333	141	3	578	696	663	405	191	122	2,077	2,655
令和4年度	25	65	283	155	9	537	611	595	353	244	160	1,963	2,500

2. 高齢者通所介護事業利用実績

(延人数：人)

提供月	稼動日数	総合事業		介護サービス					合計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	20	0	47	187	155	190	29	8	616
5月	23	0	55	208	180	211	25	9	688
6月	22	0	53	190	189	225	21	10	688
7月	22	0	55	195	190	227	22	10	699
8月	23	0	57	213	178	220	26	6	700
9月	21	4	59	205	173	211	25	6	683
10月	22	5	70	187	209	220	27	9	727
11月	22	4	68	202	193	227	27	9	730
12月	21	4	65	160	209	218	27	8	691
1月	20	4	61	156	184	197	22	6	630
2月	21	4	68	150	175	229	26	8	660
3月	21	4	54	160	170	221	25	8	642
合計	258	29	712	2,213	2,205	2,596	302	97	8,154
令和4年度	258	58	636	2,017	1,723	2,100	401	161	7,096

3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績

(延人数:人)

提供月	稼働日数	生活介護	就労継続 支援B型	合 計
4月	20	456	467	923
5月	23	499	515	1,014
6月	22	471	522	993
7月	21	436	475	911
8月	22	466	497	963
9月	21	447	474	921
10月	22	448	506	954
11月	22	450	504	954
12月	21	428	478	906
1月	20	399	449	848
2月	21	414	455	869
3月	21	413	442	855
合 計	256	5,327	5,784	11,111
令和4年度	258	5,735	4,786	10,521

4. 地域活動支援センター事業利用実績

・日中一時支援事業

(延人数:人)

提供月	障がい者	障がい児	合 計
4月	0	2	2
5月	0	2	2
6月	0	2	2
7月	0	2	2
8月	0	1	1
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	1	0	1
3月	0	0	0
合 計	1	9	10
令和4年度	0	24	24

5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績

(実人数:人)

提供月	特定相談支援		障害児相談支援		合 計
	利用支援	継続支援	利用支援	継続支援	
4月	13	29	6	5	53
5月	27	22	10	11	70
6月	24	31	6	13	74
7月	17	34	5	5	61
8月	22	34	6	10	72
9月	14	37	6	10	67
10月	25	37	5	12	79
11月	9	50	3	11	73
12月	16	38	12	10	76
1月	6	41	6	6	59
2月	12	31	9	9	61
3月	11	35	7	5	58
合 計	196	419	81	107	803
令和4年度	171	360	84	87	702

6. 共同生活援助事業（やわらぎ）利用実績

(人)

提供月	稼働日数	実人数	延人数
4月	16	4	36
5月	19	3	48
6月	17	3	45
7月	26	4	46
8月	28	5	57
9月	30	4	66
10月	25	4	67
11月	21	4	72
12月	17	4	64
1月	19	4	71
2月	17	4	62
3月	16	4	69
合 計	251	47	703
令和4年度	200	43	703